

令和7年度 第5回 静岡市上下水道事業経営協議会 会議録

1 日時 令和7年12月19日（金） 14:00～15:00

2 場所 静岡市上下水道局庁舎 7階71会議室

3 出席者

（1）委員（敬称略）8人出席／11人全体

鈴木会長、大石委員、狩野委員、竹内委員、橋本委員、原田委員、堀田委員、横山委員  
（欠席）小泉副会長、濱田委員、中井委員

（2）上下水道局職員

遠藤公営企業管理者、大石上下水道局長、  
花村局次長兼経営管理部長、石野水道部長、藤田下水道部長、  
川口上下水道総務課長、小林参与兼上下水道経営企画課長、水島上下水道経理課長、秋山参与兼  
お客様サービス課長、  
石原参与兼水道計画課長、瀧戸参与兼水道建設・維持課長、角谷水道施設課長、山本中山間地水  
道課長、浅井水質管理課長、山下水道事務所長、鎌田水道維持担当課長、新庄清水水道施設担当  
課長、望月水道部主幹  
石上参与兼下水道計画課長、松田下水道建設課長、稲葉下水道維持課長、山本下水道施設課長、  
杉山下水道事務所長、河野葵・駿河浄化センター担当課長、山上清水浄化センター担当課長  
※代理出席の所属もあり

（3）協議会事務局職員

小林参与兼上下水道経営企画課長 外4名

4 傍聴者 報道5社、市議会議員1名

5 内容

（1）開会

（2）議題

① 令和8年度上下水道局事業概要について

上下水道経理課から説明

資料1：令和8年度上下水道局事業概要について

【鈴木会長】

- ・これまで市議会で要求がどの程度通ってきたか。

→【上下水道経理課】

- ・市議会では要求どおりに通ることが多い。

【鈴木会長】

- ・（委員に向け）まだ市議会は始まっていないため、現段階での報告として受け止めてほしい。

## ② 清水地区の水源検討の進捗について

水道計画課から説明

資料2：清水地区の水源検討の進捗について

質問なし

## ③ 令和6年度事務事業評価への意見書について

鈴木会長から説明

資料3：令和6年度事務事業評価への意見書（案）

【鈴木会長】

- ・令和6年度事務事業評価への意見書（案）の概要、意見の総括について説明、内容の委員確認

→委員から意見、修正なし

【鈴木会長】

- ・修正がないということで、意見書として後ほど管理者に提出をさせていただく。

## ④ 水道料金・下水道使用料改定に関する意見書について

鈴木会長から説明

資料4：水道料金・下水道使用料改定に関する意見書（案）

【鈴木会長】

- ・静岡市上下水道事業経営協議会は、静岡市公営企業管理者から提案された2026年度からの次期水道料金及び下水道使用料について協議し、意見をまとめた。取扱いにあたっては当意見書の趣旨を尊重し、十分検討の上で決定されるよう要望する。
- ・改定の必要性については、能登半島地震の経験や南海トラフ地震の発生確率引き上げを受け、耐震化を加速し事業計画を見直した結果、現行の料金収入では財源が不足するため、料金改定は必要と判断した。
- ・改定周期は世代間の公平性や社会情勢を反映するため3年が適当と考える。
- ・料金体系は現行の二部料金制・逦増料金制を踏襲することが適当。
- ・改定率は水道が15.3%、下水道が15.2%で、少量利用者の負担を抑えつつ大量利用者に一定の

負担増を求める方向性で設定。

- ・その他、企業債の管理や経費削減・収支改善策、市民への丁寧な説明の必要性なども意見としてまとめている。

→委員から意見、修正なし

【鈴木会長】

- ・修正がないということで、こちらを意見書として後ほど管理者に提出をさせていただく。

## ⑤ 意見書の提出

鈴木会長から遠藤公営企業管理者へ手交

## ⑥ 会長挨拶

(コメント抜粋)

- ・1年間、委員および事務局の皆様の尽力に感謝したい。
- ・本日、2つの意見書を無事に提出することができた。
- ・市民の関心が高い水道料金・下水道使用料の改定については、安全・安心な水の供給のために必要な整備を進める上で、一定の値上げはやむを得ない考える。
- ・全国的にも同様の課題が存在しており、整備には財源確保が不可欠である。受益者負担として一定の値上げは避けられないが、その分、どのような整備が行われるのか、市民に丁寧に説明し、理解と協力を求めているいきたい。
- ・今後の人口減少を踏まえると、企業債の増加は将来世代の負担増加となる。資金調達は必要であるが、返済計画も十分に検討すべきである。
- ・1年間の協力に改めて感謝したい。

## ⑥ 静岡市公営企業管理者謝辞

(コメント抜粋)

- ・令和6年度事務事業評価への意見書及び水道料金・下水道使用料改定に関する意見書を提出いただいた。
- ・本年度の協議会は、選択的線的耐震化をはじめ、2035年・2040年を見据えた災害に強い上下水道の構築を目指し、財源確保のあり方を中心に協議を行った。
- ・料金改定に向けた協議では、改定周期や利用者区分ごとの改定率、他都市との比較、少量利用者への配慮、市民への説明方法など、多方面から意見をいただいた。
- ・また、第5次中期経営計画やしずおか水ビジョンの改訂、事業の進捗管理、予算決算、清水地区の水源地検討など、重要なテーマについても幅広い意見をいただいた。
- ・いただいた意見を真摯に受け止め、今後の運営に活かしていく所存である。
- ・料金・使用料改定に関する意見書については、来年の市議会2月定例会への条例改正議案の提出、市民への丁寧な広報に反映し、災害時にも安定した給排水を確保できるシステム構築に取り組む。

- ・来年度以降も引き続きご指導ご鞭撻を賜りたい。
- ・長時間の会議、また一年間、熱心な審議と意見をいただいたことに感謝したい。

〈連絡事項（事務局）〉

- ・資料6は、令和8年1月9日（金）までに事務局宛て提出いただきたい。  
（各項目への記入は任意、提出は必須）

確認

静岡市上下水道事業経営協議会会長

（署名）          鈴木    学